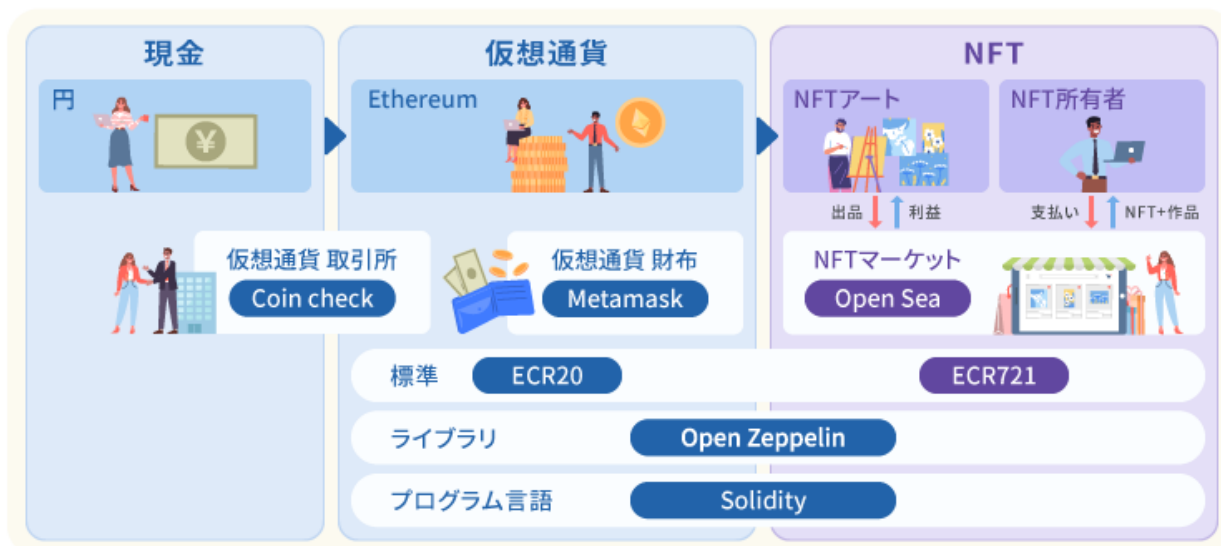


NFT(Non-Fungible Token)

NFT(Non-Fungible Token、非代替性トークン)とは、ブロックチェーンを基盤にして作成された代替不可能なデジタルデータによる「デジタル資産」のことです。



NFT と暗号資産の違い

一点物で代わりがないトークンのことを NFT というのに対して、暗号資産(仮想通貨)のような代替可能なトークンのことを FT(Fungible Token / 代替可能トークン)と呼びます。

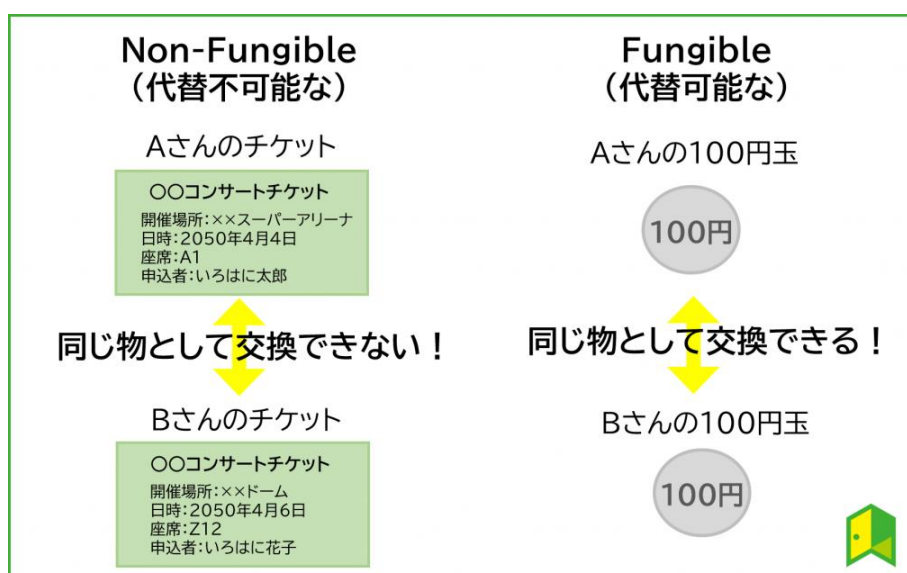
NFT	暗号資産
全く同じ価値のものは存在しなく、交換したりすることは不可	暗号資産は「代替可能」です。暗号資産は交換までできる上、同じ通貨同士は同等の価値があります。
例えばピカソが描いた絵の「原画」は代替不可で同じ価値のものは存在しない。	例えば1ビットコインは他のビットコインと等しく、1ドルは常に他の1ドルと価値は等しい。
NFTはデジタルアート、音楽、ゲームアイテム、コレクションなどの所有権を証明する目的で使われます。	暗号資産は主にデジタル決済や投資の手段として使われます。
NFTの価値は、独自性、希少性、クリエイターの評判、関連するコミュニティやプラットフォームの人気などの要因によって決まる。	暗号資産の価値は、市場の需給バランス、採用率、技術面、規制などの要因によって決まり、価格は相場取引され、市場参加者の期待や評価によって変動。

NFT の 3 つの特徴

- ① 代替不可能なデジタルデータ
- ② 誰でも作成や取引ができる
- ③ 所有者などの記録の改ざんが困難

代替不可能なものの一例として、購入者の名前や座席番号が記載されたコンサートチケットが挙げられます。

一方、100 円玉のような通貨は他の人と交換しても問題なく利用でき、代替可能です。



NFT は誰でもが作成、販売できる

NFT は誰でも販売可能で、ブロックチェーンに関する難しい知識がなくても問題なく売買できます。

OpenSea などの NFT マーケットプレイスを利用すれば、自作のイラストを使った NFT 作成も可能です。

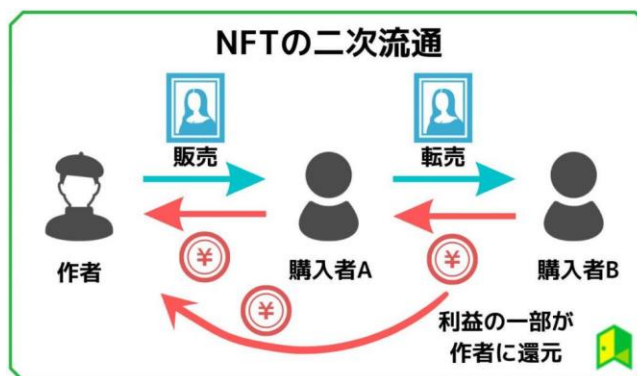
また、マイクラ風 NFT ゲームの「The Sandbox」では、簡単に NFT アイテムを作り出せます。

本の小学生が作った NFT アート作品が 2ETH (当時レートで約 80 万円) で落札されて、大きな話題になりました。



転売されると作者に報酬が還元される

NFT は転売(二次流通)時に、作者への報酬が入る仕組みを設計出来る。
取引額の数%が作者に還元されるため、クリエイターの長期的な利益に繋がる。



従来のコンテンツは、転売されてもクリエイターには還元されなかったもので、NFT が画期的な仕組みを生み出したと言える。

NFT の歴史と活用事例

- ・CryptoKitties の登場
- ・クリプトパンクスの誕生
- ・デジタルアートに 75 億の価格がつき大流行
- ・NFT ゲーム市場が急速に拡大
- ・様々な分野に NFT 技術が応用される

The infographic, titled "NFTの歴史と活用事例", lists key events in the history of NFT. It includes a pixelated character icon. The text states: "NFTの発展が起きた重要な出来事" (Important events in the development of NFT) and lists: "CryptoKittiesの登場", "クリプトパンクスの誕生", "デジタルアートに75億の価格がつき大流行", and "NFTゲーム市場が急速に拡大 など". At the bottom, it says "NFTはビジネスとしても大きな注目が集まっている" (NFT is also attracting significant attention as a business) and "いろはに投資" (Investment in Iroha).

CryptoKitties の登場

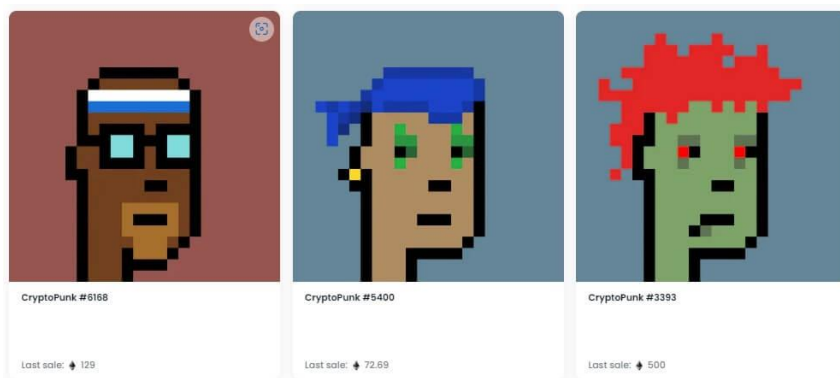


2017 年、イーサリアムブロックチェーン上に「CryptoKitties (クリプトキティーズ)」というゲームが登場しました。

デジタル上の猫を交配させて新たな猫を生み出すゲームで、レアなデジタルキャットは 600ETH (当時レートで約 1,700 万円) で取引されました。

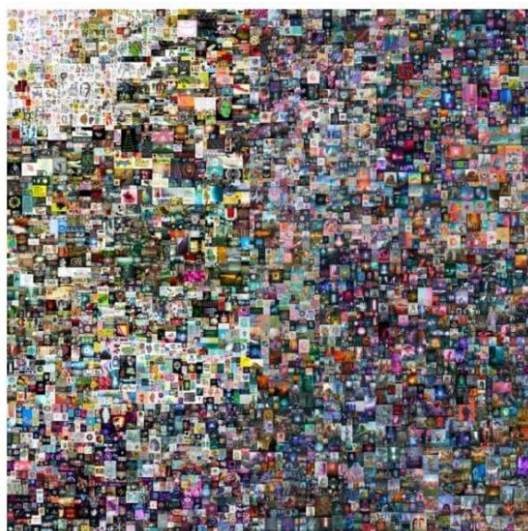
クリプトパンクスの誕生

世界最古の NFT アートと呼ばれる CryptoPunks (クリプトパンクス) は 2017 年に誕生しました。



24×24 サイズのドット絵で作られたフルオンチェーンの NFT で、8,000ETH (当時レートで約 27 億円) で取引された NFT も存在します。

デジタルアートに 75 億円の価格がつき大流行



2021 年、デジタルアーティストの Beeple が作成した NFT アート「The First 5000 Days」が 6,940 万ドル (当時レートで約 75 億円) で落札されました。老舗オークションハウスのクリスティーズで NFT が超高額落札され、NFT ブームが一気に加速しました。

Twitter 創業者ジャック・ドーシーのツイートが約 3 億円で落札されるなど、2021 年の NFT 市場は非常に盛り上がった。

NFT ゲーム市場が急速に 拡大

2021 年にはブロックチェーン
ゲームの「Axie Infinity」が大
流行しました。



ゲーム内で獲得した NFT やトークンを売却して稼ぐ「Playto Earn」の仕組みが人気を集め、NFT ゲーム市場が大きく成長しました。

最近では歩いて稼げる「STEPN」を筆頭に、「Move to Earn」が流行している。

無料で始められる Sweatcoin・Aglet・5km などのアプリもある。

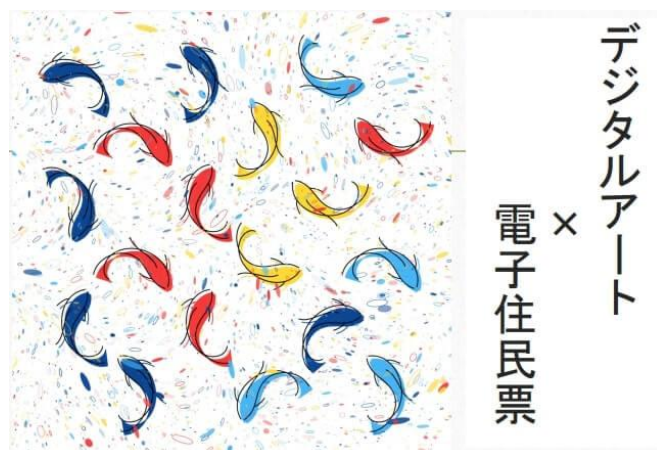
さらなる派生形として、眠って稼げる「Sleep to Earn」や音楽を聴いて稼げる「PENTA (Listen to Earn)」も登場している。

様々な分野に NFT 技術が応用される

- ・山古志村の錦鯉 NFT → 保有者にデジタル村民権を付与

2021 年 12 月にデジタルアート「錦鯉 NFT」
を発行。錦鯉 NFT 保持者を「デジタル村民」
と呼んでいる。

現在 950 人のデジタル村民が誕生して
いる。



→ エストニアの「e-residency」を参考にした。

*e-residency は、エストニア政府が 2014 年から導入した電子的なエストニア住人になれるという制度で、バーチャルな電子国民となる新しい試み。国内外の何百万人も外国人に ID カードを発行し、デジタル空間で誰でもエストニア住民になれることで、2020 年には世界中に 6 万 8 千人の e-residency 登録者があり、1 万 3 千以上の法人が設立されている。

起業、銀行口座開設、法人登記では法人税は 0%、等で大きなメリットがある。

日本人でも、エストニア大使館に申請すれば電子居住者(e-residency)になれる。

・ワイン NFT

ロバート・モンダヴィ・ワイナリーが NFT(非代替性トークン)技術を使ってワインを販売。これは磁器メーカーのバーナードと組んで行うもので、ワインは 1.5 リットルの特製の磁器に入って売られている。



・NFT を使った広告枠

広告枠を NFT 化して売買できるプラットフォーム「Kaleido」が登場、仮想通貨系メディア 3 社が実証実験を行う(2022/04/01)

・山形県西川町が発行するデジタル住民票 NFT

The advertisement features a pink and white background with a red circle on the left containing the text '日本初' (Japan's first). The main headline reads '自治体が発行する デジタル住民票 NFT' (Municipality issues Digital Resident ID NFT). Below this, it states '人口 4,732人*に対し 13,440個の購入需要' (Purchase demand of 13,440 units for a population of 4,732 people*) with a note '*2023年4月1日現在 (住民基本台帳)'. The advertisement also includes a green box with a white mountain silhouette and the text 'Nishikawa Town Digital Residents NFT' and '山形県西川町デジタル住民票 NFT'. Two gold circular callouts highlight '開始わずか 1分' (Starts in just 1 minute) and '販売数量の 13.4倍 購入需要' (Purchase demand 13.4 times the sales volume). The Nishikawa Town logo is in the bottom right corner.

4月28日(火)迄、第1回西川町デジタル住民票 NFT の販売が NFT マーケットの HEXA(ヘキサ)で行われました。1個 1,000円、1,000個限定の抽選販売でした。

日本で初めて自治体が発行するデジタル住民票 NFT「西川町デジタル住民票 NFT」は、販売数量 1,000 個に対し、13,440 個 (13.4 倍) の購入需要を集めました。西川町の人口 4,732 人 (2023 年 4 月 1 日の住民基本台帳) に対し、デジタル住民票 NFT の購入需要が 13,440 個と、住民数の 2.8 倍の購入需要を集めたこととなり、本件を通じて西川町の関係住民の創出に繋がりました。

NFT マーケットの HEXA(ヘキサ)を利用することで、自治体は暗号資産ウォレットや暗号資産を持つことなく、NFT の発行が可能となります。これにより、地方財政法に基づいて、日本の自治体が公式に NFT の発行が可能となりました。これにより、自治体が NFT を活用した Web3.0 施策に取り組みやすい下地が整います。

山形県西川町のデジタル住民票 NFT は、前例のない日本初の事例となります。本件を成功事例・前例とし、日本各地で NFT を活用した新しい地方創生の取り組みが進むきっかけになるものと考えています。NFT を活用した関係住民創出については、岸田内閣が 2022 年に発表した経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)に記載された「ブロックチェーン技術を基盤とする NFT(非代替性トークン)の利用等の Web3.0 の推進に向けた環境整備」にも合致します。今後も、日本最大級の NFT マーケット HEXA(ヘキサ)は、包括連携協定を締結した山形県西川町と、骨太の方針に記載のある「メタバースも含めたコンテンツの利用拡大」についても、HEXA メタバースなどの活用を通じて取り組んでいきます。

【参考資料】

暗号資産(仮想通貨): 代表的な 11 種類 (2023 年 10 月 現在)

名 称	銘柄識別略称	取引価格	時価総額
ビットコイン (Bitcoin)	BTC	¥4,028,528	783, 955億円
イーサリアム (Ethereum)	ETH	¥233,091	279,721 億円
バイナンスコイン	BNB	¥31,039	47,5370 億円
リップル (Ripple)	XRP	¥73	38,906 億円
ソラナ (Solana)	SOL	¥3,297	13,699 億円
カルダノ (Cardano)	ADA	¥37	13,007 億円
ドージコイン (Dogecoin)	DOGE	¥9	12,660 億円
ترون (Tron)	TRX	¥12	11,315 億円
ダイ (Dai)	DAI	¥150	7,999 億円
マティック (Matic)	MATIC	¥77	7,199 億円
ポルカドット (Polkadot)	DOT	¥560	7,103 億円

以 上